

ラピッドサイト
[コンソールガイド]
新 VPS コンソール利用マニュアル

目次

1.新サーバー管理画面について.....	4
ご提供中の管理画面.....	4
比較表.....	4
1-1.VPS コンソールについて.....	6
1-2.新 VPS コンソールの機能.....	7
1-3.PowerPanel の機能.....	8
2.VPS コンソールご利用ガイド.....	10
2-1.VPS コンソールへのログイン.....	10
2-2.VPS コンソールログインパスワードの再発行.....	11
2-3.管理者メールアドレスの確認と変更.....	12
2-4.SSL.....	14
2-4-1.CSR の発行方法.....	14
2-4-2.秘密鍵の確認方法.....	17
2-5.SPF レコードの追加.....	19
2-6.サブドメインについて.....	22
2-7.マルチドメインのゾーン設定.....	24
2-7-1.A レコードの登録.....	27

2-7-2.MX レコードの登録.....	27
2-7-3.CNAME レコードの登録.....	28
3.Plesk ご利用ガイド	29
3-1.Plesk へのログイン	29
3-2. Plesk Admin パスワードがご不明な場合	30
4.PowerPanel ご利用ガイド	31
4-1.PowerPanel へのログイン	31
4-2.root パスワードの変更方法.....	32
4-3.PowerPanel ログインパスワードの再発行	33
4-4.サーバーの起動・停止	34
4-5.バックアップの作成・復元・削除.....	35
4-5-1.バックアップの作成.....	35
4-5-2.バックアップの復元	36
4-5-5.バックアップの削除	36

1.新 VPS コンソール画面について

この度、ラピッドサイトの「VPS コンソール」をリニューアルする運びとなりました。新しい「VPS コンソール」のご利用方法につきましては、こちらのマニュアルに掲載いたしますので、ご確認いただきますようお願いいたします。

ご提供中の管理画面

VPS コンソール		リニューアル対象	VPS コンソールと PowerPanel に分かれます。
Plesk		変更なし	—
アカウント マネージャー			

比較表

機能比較					
機能		VPS コンソール		PowerPanel	備考
		旧	新		
ホスト名	表示	○	×	○	PowerPanel に表示されます。
	変更	○	×	×	ホスト名の変更はできなくなります。
IP アドレス	表示	○	×	○	PowerPanel に表示されます。
	削除	○	×	×	IP アドレスの削除はできなくなります。
状態	ステータス	○	×	○	PowerPanel に表示されます。
	停止	○	×	○	PowerPanel で停止ができます。

	起動	○	×	○	PowerPanelで起動ができます。
root パスワード	表示	○	×	×	root パスワードは表示されなくなります。
	変更	○	×	○	PowerPanelで変更ができます。
OS テンプレート	表示	○	×	×	OS テンプレートの表示・更新・追加機能はなくなります。
	更新				
	追加				
バックアップ	保存	○	×	○	PowerPanelで保存ができます。
	削除	○	×	○	PowerPanelで削除ができます。
	復元	○	×	○	PowerPanelで復元ができます。
ログインユーザー パスワード	変更	○	×	×	ログインユーザーのパスワードは変更できなくなります。
	リマインダ	○	×	×	
Plesk 連携		○	×	×	Plesk との連携はなくなります。

1-1.VPS コンソールについて

VPS コンソールの構成が変わり、一部機能につきましては新しく管理画面の「PowerPanel」に移動いたします。

なお、**VPS コンソールのログイン URL とログイン情報は変更ございません。**

VPS コンソールのログイン URL

https://rsjpsserver.net/

The image shows two screenshots of the RapidSite VPS console interface, illustrating a UI update. The top screenshot, labeled '変更前' (Before Change), shows a navigation menu with tabs for 'ホーム', 'ホスト済みドメイン', 'VPS 管理', 'Parallels Plesk Panel', and 'アカウント'. The 'VPS 管理' and 'Parallels Plesk Panel' tabs are highlighted with red boxes. The main content area is divided into three sections: 'サービス情報' (Service Information), 'VPS 管理' (VPS Management), and 'Parallels Plesk Panel'. The 'VPS 管理' section lists details for VPS-1G (ID: 000), including host name, IP address, and status. The bottom screenshot, labeled '変更後' (After Change), shows the updated interface where the 'VPS 管理' and 'Parallels Plesk Panel' tabs have been removed from the navigation menu. The main content area now only displays the 'アカウント' (Account) and 'ドメイン' (Domain) sections. Red arrows point from the red boxes in the top screenshot to the corresponding sections in the bottom screenshot, indicating the removal of those sections.

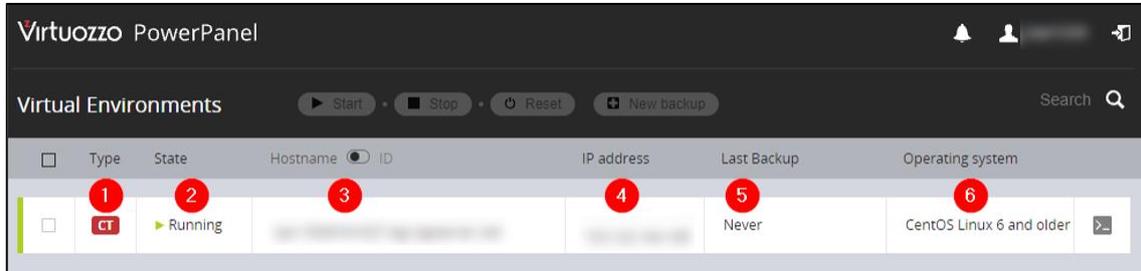
[VPS 管理] のタブがなくなり、[PowerPanel] を新しくご提供いたします。また、[Plesk Panel] のタブがなくなり、**URL から直接ログイン**いただくようになります。

1-2.新 VPS コンソールの機能

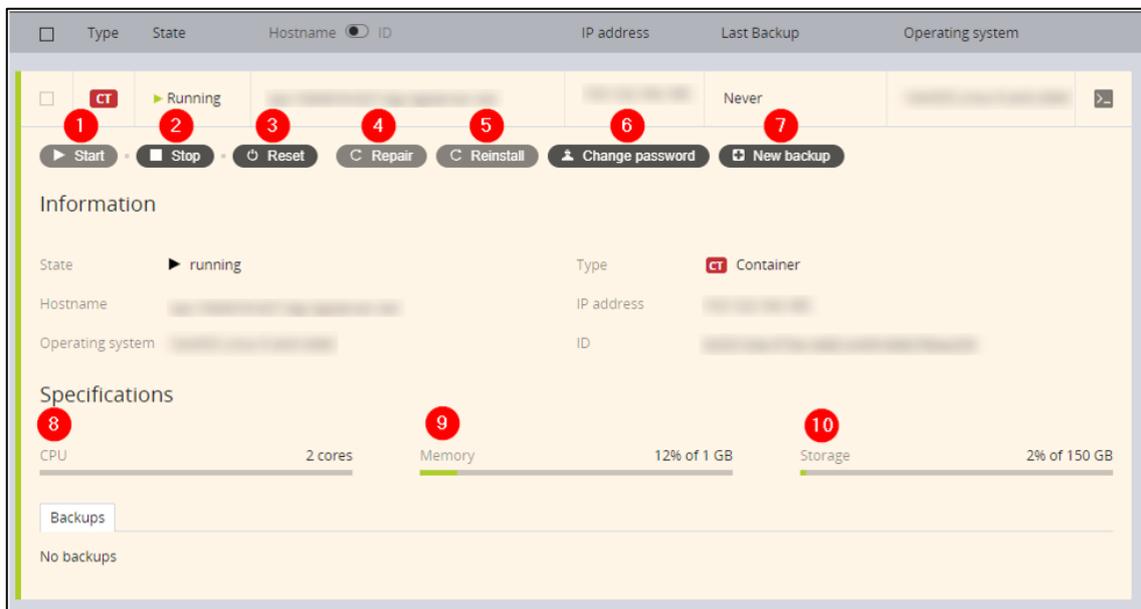


①	ホーム		TOP ページです。各タブに移動できません。
②	ホスト済みドメイン	新規サブドメインを追加	サブドメインを追加できます。
		検索パネルを表示	ID、ドメイン名から検索ができます。
		ドメイン名	表示されているドメイン名をクリックすると、設定されている情報が閲覧可能です。ゾーン管理機能の有効→無効や、ゾーン編集が可能です。
③	アカウント	アカウントの連絡先	連絡先のメールアドレス、電話番号などが変更できます。
		住所	アカウントの連絡先住所が変更できます。
		管理者	現在の管理者情報一覧が表示されます。新しい管理者の追加も可能です。
		追加ツール	サービス管理者の役割変更やパスワード期限の設定などができます。
		ホスティング契約	現在契約しているホスティング契約一覧が表示されます。
④	契約		プルダウンから契約を選択できます。

1-3.PowerPanel の機能



①	Type	コンテナまたは VM のいずれかが表示されます。
②	State	仮想環境の状態ステータスが表示されます。
③	Hostname / ID	ホスト名または ID の表示を選択できます。
④	IP address	IP アドレスが表示されます。
⑤	Last Backup	バックアップを最後に行った日付が表示されます。
⑥	Operating system	ご契約のソフトウェアが表示されます。



①	Start	コンテナの起動ができます。
②	Stop	コンテナの停止ができます。
③	Reset	コンテナの再起動ができます。 <u>再起動する前に必要なデータは保存してください。</u>
④	Repair	サーバー復元ができます。

⑤	Reinstall	コンテナを再インストールできます。
⑥	Change password	仮想環境のローカルユーザーアカウントのパスワードを変更できます。
⑦	New Backup	仮想環境のバックアップを作成できます。 ※3世代までバックアップ可能 ※バックアップデータは「バックアップの復元」または「バックアップの削除」ができます。
⑧	CPU	ご利用中のCPUが表示されます。
⑨	Memory	ご利用中のMemoryの利用状況が確認できます。
⑩	Storage	ご利用中のStorageの利用状況が確認できます。

2.VPS コンソールご利用ガイド

2-1.VPS コンソールへのログイン

1.VPS コンソールへのログイン画面を開きます。

VPS コンソールのログイン URL
https://rsjpsserver.net/

2.お手元で管理されているログイン ID とパスワードでログインをします。

3.ホーム画面が表示されたらログイン完了です。

2-2.VPS コンソールログインパスワードの再発行

パスワードの再発行につきましては、お手数ですが弊社サポート窓口までお問い合わせください。

サポート窓口	
電話窓口	03-4233-1158（平日 10 時～18 時） ※弊社特別休業日を除く
お問い合わせフォーム	技術的なお問い合わせ

2-3.管理者メールアドレスの確認と変更

ご契約いただいた時のお客さま情報を元に、VPS コンソールには、管理者メールアドレスをご登録させていただいております。

VPS コンソールのパスワード再発行を行う場合、この管理者メールアドレス宛に、再設定用の URL 情報が送信されることとなります。

VPS コンソールの管理者メールアドレスは、アカウントマネージャーのご契約情報とは連動しておりません。

アカウントマネージャーにご登録いただいているメールアドレス情報が無効になった場合は、このマニュアル手順での変更作業をお客さま側で行っていただく必要がございます。お手数とは存じますが、よろしくお願いいたします。

- 1.VPS コンソールにログインします。
- 2.「アカウント」タブをクリックします。



- 3.「管理者」をクリックします。



4. 「ログインユーザー名」に表示されているユーザー名をクリックします。



5. VPS コンソールに登録されている管理者メールアドレスが表示されます。[編集] をクリックします。



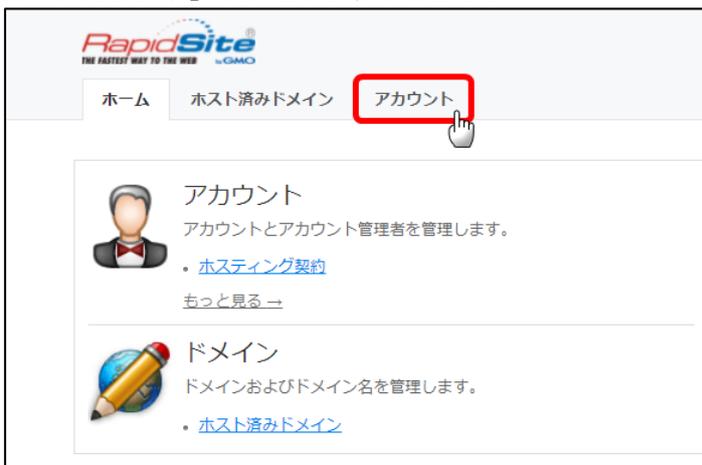
編集画面が表示されますので、変更後のメールアドレスを入力して [送信] をクリックして完了です。



2-4.SSL

2-4-1.CSR の発行方法

- 1.VPS コンソールにログインします。
- 2.「アカウント」タブをクリックします。



- 3.「追加ツール」をクリックします。



- 4.「SSL 証明書」をクリックします。



5. 「**証明書の署名リクエストを作成**」をクリックします。



6. CSR 発行情報の入力画面が表示されますので、半角英文字で必要事項を入力 > [次へ] をクリックします。

証明書情報

ビット: 2048

キーのタイプ: RSA

国: 日本

都道府県: [input field]

市区町村: [input field]

組織名: [input field]

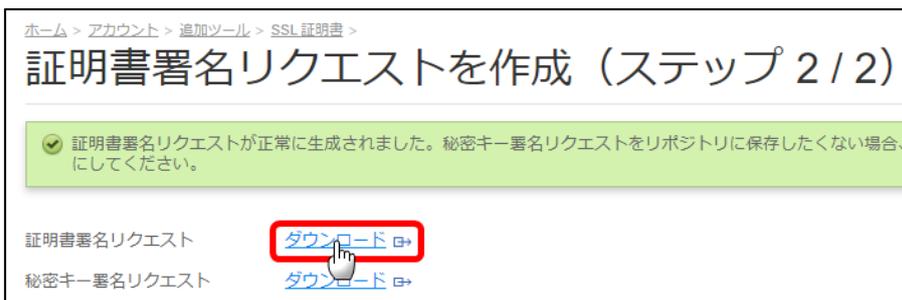
組織の部署名: [input field]

コモンネーム: [input field]

メールアドレス: [input field]

Buttons: 次へ >> (highlighted with a red box), キャンセル

7. 「証明書署名リクエストが正常に生成されました。」と表示されます。「証明書署名リクエスト」のダウンロードをクリックすると CSR 情報をダウンロードできます。



※ 「ダウンロード」をクリックすると、すぐにダウンロードされます。

8. 「秘密キーをリポジトリに保管」にチェックが入っていることを確認し、[閉じる]をクリックします。

証明書署名リクエストを作成 (ステップ 2/2)

証明書署名リクエストが正常に生成されました。秘密キー署名リクエストをリポジトリに保存したくない場合、「秘密キーをリポジトリに保管」チェックボックスをオフにしてください。

証明書署名リクエスト [ダウンロード](#)

秘密キー署名リクエスト [ダウンロード](#)

証明書情報

ビット	2048
キーのタイプ	RSA
国	Japan
郵便府県	tokyo
市区町村	shibuya
組織名	rapi
組織の郵便名	rapi
コモンネーム	test.rapi
メールアドレス	hayakawa@gmcloud.com

秘密キーをリポジトリに保管

<< 戻る 閉じる

チェックを必ず入れて、「閉じる」をクリックしなせんと、秘密キーが保存されませんので、必ず「閉じる」をクリックしてください。

9. ダウンロードした「signed_request.pem」をエディタソフトで開いてみると、下図のような状態になっています。「-----BEGIN CERTIFICATE REQUEST-----」を含む「-----END CERTIFICATE REQUEST-----」までのすべての文字列を電子認証局へ提出してください。

signed_request.pem

-----BEGIN CERTIFICATE REQUEST-----
MIICBTCCAdeCAQAwgaMxCzAJBgNVBAYTAkpOMQ4wDAYDQQIEwV0b2t5bzETMBEG
A1UEBxMKc2hpYnV5YS1rdTESMBAQA1UEChMjZ21vIGNsb3VkbMRgWfYDVoQLEw9j
dXNObWV5IHNIcnZpY2UxGjAYBgNVBAMTEXd3dy5ob25leTg2My5saW5rMSUwIwYJ
KoZiIhvcNAQkBFhZtYXRzdW1vdG9AZ21vY2xvdWQuY29tMIIIBjANBgkqhkiG9w0B
AQEFAAOCAQ8AMIIBCgKCAQEAvgzk0SF1gwVj8TOXLa9RuunJ9SnAy18Mw/9rDAuF
+G2HJmtkHOuFh50qKgykQbJReYJrUWg1DvVF6JcnTLYTgDXFeZTuiyv6FzHsJYp2
OHkL7pETyxPLOpooe3EE8vpefThrk9ZNRxNTsenAiLWeXak8LMnhSUjiqDRc8Nwp
iOBPQYWAMI34tynLT/8zH7V9Hbh6VXCRCrwakeE02kQHOFZekk3XkDokxv9+clvCK
2QxI9LTbIKxfcpvzKrXGGyQ6RWWFiNYr/r2kWINXU+R5PvyY/eUui3fha3IRFK/3
yEIN12gjKzojqXE34vyGQF1QrIKunLShn478SBgDh8SCNwIDAQABoAAADQYJKoZI
hvcNAQEFBQADggEBAHxvSWTvJufC2E5cLoVX33Mn3nErtKWGgijvsUR1IETQIMQ
KL20VPBQaPd1UOInpD74yohbWqZDHkpnITLpkVHQn9+oc2fIzndw1NffZbM9VRIO
sW8KBAUicozay/S7IaPEBmtJrN82ToqeIo8XbvB8xc2Xo7Jfq+NuzM1EidYtotsj
DEq74zptSAve9tJvATEuXkcaz4h66TT3y2tucWYpicK+WwqjOkj5axVDGtnf+Pix
nIaW5OKsmUJyjrYg8qzF/Fuw/zsOFkhdeZ51gA2/Od7HG5X4NRWjG7hVaRYfL5K
51aoPTX+HiveHr8X1qIjJnWSJXSmqvCkKQgQ3pw=
-----END CERTIFICATE REQUEST-----
[EOF]

サンプル

2-4-2.秘密鍵の確認方法

VPS コンソールから CSR 発行を行った場合、以下の手順で秘密鍵ファイルを取得してください。

1.VPS コンソールログイン後、下図の「アカウント」タブをクリックします。



2.「追加ツール」をクリックします。



3.「SSL 証明書」をクリックします。



4.CSR 発行時に、「秘密キーをリポジトリに保管」にチェックを入れてある場合、以下のように秘密キーが保管されています。「ダウンロード」をクリックすると、秘密キー情報が保存できますので、ご利用 PC 内に保存してください。



ホーム > アカウント > 追加ツール > 画面 ID : 2.11.39.11

SSL 証明書

データリポジトリに格納されている SSL 証明書、秘密キー、証明書署名リクエストを管理します。SSL 証明書または証明書署名のリクエスト作成、および既存の証明書のダウンロードも可能です。

[+ アイテムをアップロード](#) [+ 新しい証明書を作成](#) [+ 証明書の署名リクエストを作成](#) | [削除](#)

1-1 / 1 | [検索パネルを表示](#)

<input type="checkbox"/>	ID ▲	名前	説明	タイプ	アクション
<input type="checkbox"/>			次の証明書リクエスト用の秘密キー - rapidsite	Private keys	ダウンロード

2-5.SPF レコードの追加

- 1.VPS コンソールにログインします。
- 2.「ホスト済みドメイン」タブをクリックします。



- 3.SPF レコードを追加したいドメイン名をクリックします。



- 4.「DNS」のタブをクリックします。



5. DNS レコードをクリックします。



6. 「新しい DNS レコードを追加」をクリックします。



7. 「DNS レコードタイプ」は TXT を選択します。



8.TXT を選択すると、画面が変わります。「データに」SPF レコードを追加します。
SPF レコードを追記後、画面下にある [終了] をクリックして完了です。

例：IP アドレスが「123.456.78.90」だった場合

v=spf1 ip4:123.456.78.90~all

ホーム > ホスト済みドメイン >
example.com

概要 DNS

DNS ホスティング | DNS レコード | ゾーン設定

DNS レコードタイプ

DNS リソースタイプを選択

DNS レコードタイプ **TXT**

DNS レコードのプロパティ

新しい TXT レコードプロパティを指定

ドメイン example.com.

データ* **v=spf1 ip4:192.0.2.0~all**

TTL

カスタム

3600
カスタム値を入力

デフォルト TTL

*必須フィールド **終了** キャンセル

CNAME や TXT レコードに関しましては 1 行に設定可能な文字数が **250 文字まで** となります。お手数ですが、複数行で記述するなど、ご検討いただけますようお願い申し上げます。

2-6.サブドメインについて

※メインドメイン名が「example.com」で、サブドメイン「shop.example.com」を作成する場合の登録方法のご案内となります。

- 1.VPS コンソールにログインします。
- 2.「ホスト済みドメイン」タブをクリックします。



- 3.「新規サブドメインを追加」をクリックします。



- 4.サブドメイン名のフォームにサブドメインの文字列を入力し、[次へ] をクリックします。



5.終了をクリックします。「新しいドメインを追加する準備ができました。新しいドメインホスティングパラメータに間違いがないか確認してください。」のメッセージが表示されますのでサブドメイン名をご確認ください。



2-7.マルチドメインのゾーン設定

※注意※

Plesk 画面にて DNS レコード変更後、必ず新しい VPS コンソール画面でも DNS レコード変更を行ってください。Plesk 画面のゾーン変更は VPS コンソールに自動反映されませんのでご注意ください。

- 1.VPS コンソールにログインします。
- 2.「ホスト済みドメイン」タブをクリックします。



- 3.マルチドメイン名のご契約が完了している場合、こちらに表示されます。
ゾーンを追加したいマルチドメイン名をクリックします。



4. DNS のタブをクリックします。

ホーム > ホスト済みドメイン >
multidomain.com
画面 ID: 2.11.11.58

概要 **DNS**

全般

ID 0000
名前 multidomain.com
同期 はい
ゾーン管理機能 有効

[編集](#)

ホスティングサービス

1-1 / 1

ホスティングサービス	ステータス	契約	ロケーション	リンク
DNS ホスティング	<input checked="" type="checkbox"/> 同期	DNS Template ()		詳細を表示

5. 「DNS レコード」 をクリックします。

ホーム > ホスト済みドメイン >
multidomain.com

概要 **DNS**

[DNS ホスティング](#) **DNS レコード** [ゾーン設定](#)

ホスティングタイプ 内部ネームサーバ (ベンダー提供のネームサーバを使用)

DNS サーバ

契約 [DNS Template \(\)](#)

[DNS ホスティングを外部に変更](#)

6. 「新しい DNS レコードを追加」 をクリックします。

ホーム > ホスト済みドメイン >
multidomain.com

概要 **DNS**

[DNS ホスティング](#) | [DNS レコード](#) | [ゾーン設定](#)

DNS レコードのリスト

+ 新しい DNS レコードを追加

1-2 / 2 | [検索パネルを表示](#)

タイプ	ホスト	データ
NS	multidomain.com	
NS	multidomain.com	

7. 「DNS レコードタイプ」 から追加希望のレコードを選択しゾーン情報を登録します。

ホーム > ホスト済みドメイン >
multidomain.com
 概要 DNS
 DNS ホスティング | DNS レコード | ゾーン設定
DNS レコードタイプ
 DNS リソースタイプを選択
 DNS レコードタイプ ▼
DNS レコードのプロパティ
 新しいAレコードプロパティを指定

一般的なサーバー設定に必要なゾーン情報は以下になります。

※マルチドメイン名が「multi_rapisite.jp」の場合

DNS レコードタイプ	ドメイン	IPアドレス or 設定値
A	multi_rapisite.jp.	123.456.789.01
MX	multi_rapisite.jp.	10 multi_rapisite.jp.
CNAME	ftp.multi_rapisite.jp.	multi_rapisite.jp.
CNAME	mail.multi_rapisite.jp.	multi_rapisite.jp.
CNAME	news.multi_rapisite.jp.	multi_rapisite.jp.
CNAME	pop.multi_rapisite.jp.	multi_rapisite.jp.
CNAME	smtp.multi_rapisite.jp.	multi_rapisite.jp.
CNAME	www.multi_rapisite.jp.	multi_rapisite.jp.
CNAME	imap.multi_rapisite.jp.	multi_rapisite.jp.

登録方法は、レコード毎に異なりますので、以下をご参照の上、ご対応いただけますようお願いいたします。

2-7-1.A レコードの登録

A レコード登録時に必要な情報は赤枠の IP アドレスのみとなります。入力後 [終了] をクリックします。※「ドメイン」の入力欄には入力不要です。

DNS レコードタイプ

DNS リソースタイプを選択

DNS レコードタイプ A

DNS レコードのプロパティ

新しい A レコードプロパティを指定

ドメイン .multidomain.com
全サブドメインの A レコードを作成するには、'*' または '*.{prefix}' を入力します。

IP アドレス*

TTL

カスタム

カスタム値を入力

デフォルト TTL

*必須フィールド

終了 キャンセル

2-7-2.MX レコードの登録

MX レコードの登録は以下を参照に入力してください。入力後 [終了] をクリックします。

- ・ DNS レコードタイプ : MX
- ・ プリファレンス : 10
- ・ メールエクスチェンジャ : マルチドメイン名

DNS レコードタイプ

DNS リソースタイプを選択

DNS レコードタイプ MX

DNS レコードのプロパティ

新しい MX レコードプロパティを指定

メールドメイン .multidomain.com

プリファレンス 超高 (10)

メールエクスチェンジャ* multidomain.com **マルチドメイン名を入力**

TTL

カスタム

カスタム値を入力

デフォルト TTL

*必須フィールド

終了 キャンセル

2-7-3.CNAME レコードの登録

CNAME レコードの登録は以下を参照に入力してください。入力後 [終了] をクリックします。

- ・ DNS レコードタイプ : CNAME
- ・ ドメイン : ftp
- ・ 正規名 : マルチドメイン名

※マルチドメイン名の最後尾に必ず「.(半角ピリオド)」を付記してください。

The screenshot shows a web form for adding a DNS record. The 'DNS レコードタイプ' (DNS Record Type) dropdown menu is set to 'CNAME'. Under 'DNS レコードのプロパティ' (DNS Record Properties), the 'ドメイン' (Domain) field is empty with '.multidomain.com.' as a suffix. The '正規名' (Canonical Name) field contains 'canonicalname.' and is highlighted with a red box. The 'TTL' (Time to Live) is set to '3600' with the option 'カスタム' (Custom) selected. At the bottom, there are two buttons: '終了' (End) and 'キャンセル' (Cancel), with '終了' highlighted by a red box. A note at the bottom left indicates '*必須フィールド' (Required field).

上記の手順で他の CNAME レコード (mail や pop など) の登録をお願いいたします。

CNAME や TXT レコードに関しましては 1 行に設定可能な文字数が **250 文字まで** となります。お手数ですが、複数行で記述するなど、ご検討いただけますようお願い申し上げます。

3.Plesk ご利用ガイド

3-1.Plesk へのログイン

新 VPS コンソールでは、Plesk へのログインおよび Admin パスワードの変更が行えなくなります。そのため、Plesk へアクセスされる際は、以下のログイン URL からアクセスをお願いいたします。

Plesk のログイン URL
https://お客様の IP アドレス:8443/



3-2. Plesk Admin パスワードがご不明な場合

Plesk のログインに必要な Admin パスワードがご不明な場合、SSH でサーバーにログインして以下のコマンドでご確認ください。

※ご利用の Plesk バージョンにより確認方法が異なります。

■ Plesk12.X をご利用のお客さま

```
# /usr/local/psa/bin/admin --show-password
```

■ Plesk17.x、18.x をご利用のお客さま

ワンタイムログイン URL を発行

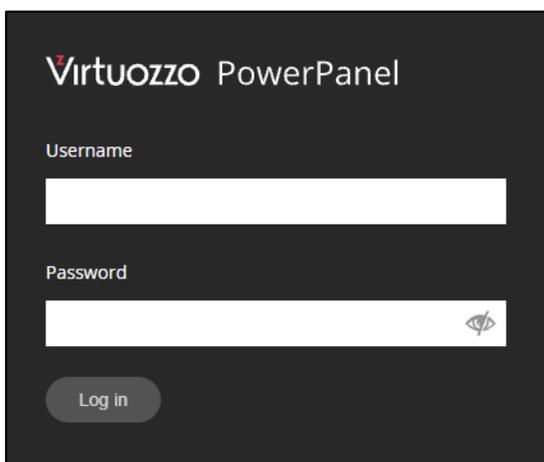
```
# plesk login
```

4.PowerPanel ご利用ガイド

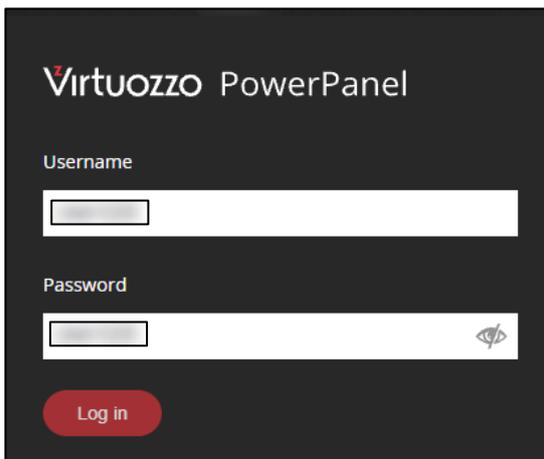
4-1.PowerPanel へのログイン

1.PowerPanel へのログイン画面を開きます。

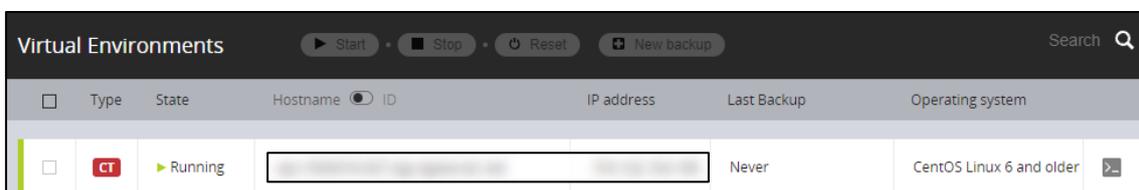
PowerPanel ログイン URL
https://panel.clsvrsystems.net



2.設定完了通知に記載されている PowerPanel 用の Username と Password を入力し、
[Login] をクリックします。

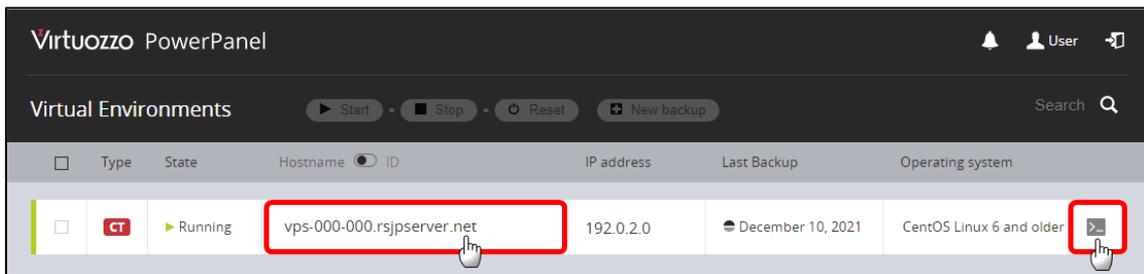


3.TOP ページが表示されたらログイン完了です。



4-2.root パスワードの変更方法

1. PowerPanel にログインします。
2. Hostname/ID または、画面右側にある  をクリックします。



3. [Change password] をクリックします。



4. パスワード変更画面がポップアップで表示されますので、パスワードを変更するユーザー名と新しいパスワードを入力し [Save] をクリックして完了です。

Change instance password [X]

Enter username

Enter password
 

Save Cancel

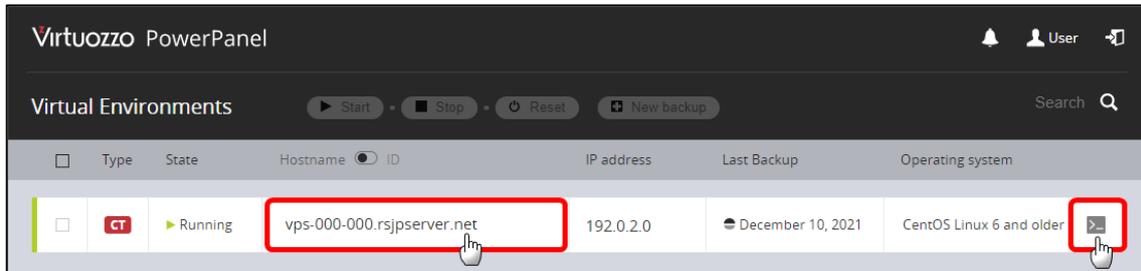
4-3.PowerPanel ログインパスワードの再発行

パスワードの再発行は PowerPanel の画面上から行うことができません。お手数ですが、弊社サポート窓口までお問い合わせください。

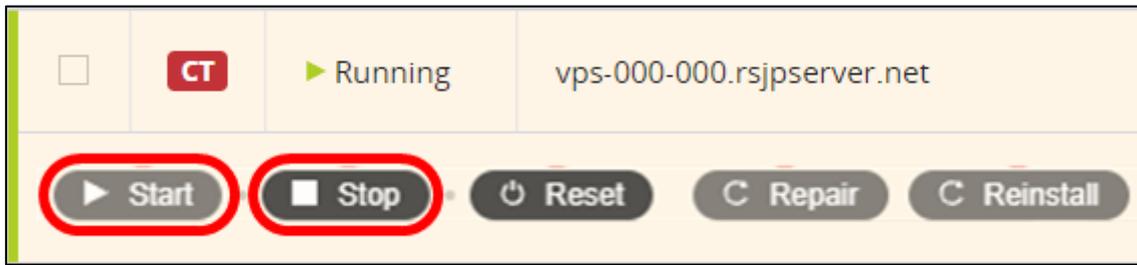
サポート窓口	
電話窓口	03-4233-1158（平日 10 時～18 時） ※弊社特別休業日を除く
お問い合わせフォーム	技術的なお問い合わせ

4-4. サーバーの起動・停止

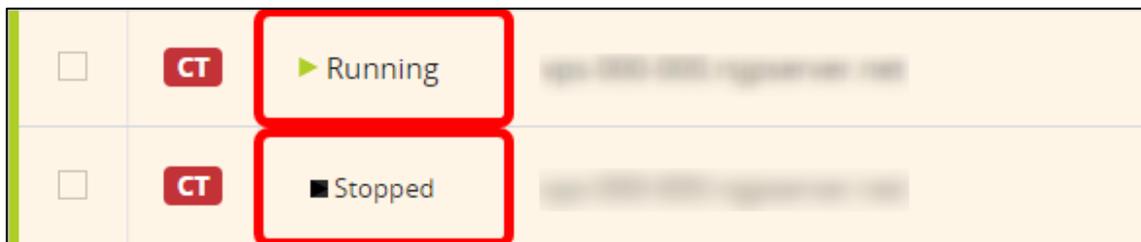
1. PowerPanel にログインします。
2. Hostname/ID または、画面右側にある  をクリックします。



3. [▶ Start] をクリックすると起動、[■ Stop] をクリックすると停止になります。



サーバーの状態を確認する場合は、同画面のステータスをご確認ください。



Running	稼働中
Stopped	停止

4-5.バックアップの作成・復元・削除

4-5-1.バックアップの作成

バックアップは第三世代まで保存が可能です。第三世代まで取得しますと [New backup] がクリックできなくなります。[Backups] から不要なバックアップデータの削除いたしますと、[New backup] をクリックができるようになりバックアップの実行が可能となります。

初回のバックアップ	フルバックアップが作成される
二回目のバックアップ	増分のバックアップが作成される
三回目のバックアップ	増分のバックアップが作成される

※バックアップ名の変更はできません。

※増分：最後に実行したバックアップ以降に作成または変更されたファイルをすべてバックアップします。

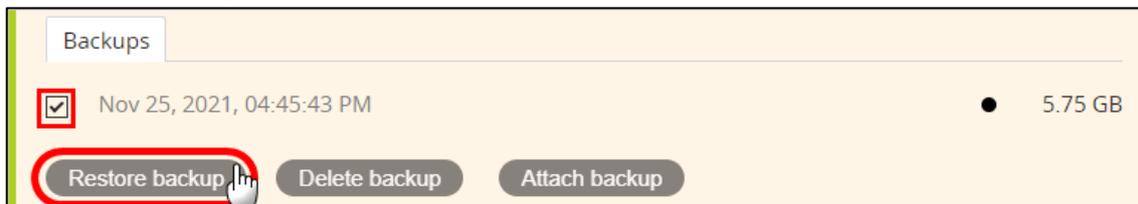
※バックアップデータは引き継ぎされないため、新しい管理画面でバックアップを取得するようにお願いいたします。

- 1.PowerPanel にログインします。
- 2.Hostname (または ID) をクリックします。
3. [+New backup] をクリックします。バックアップの取得が開始されます。完了後、画面下にある [Backups] に履歴が表示されればバックアップ作成完了となります。



4-5-2.バックアップの復元

バックアップデータを復元する場合は、復元したいバックアップデータに☑チェックを入れ、
[Restore Backup] をクリックすると復元完了です。



4-5-5.バックアップの削除

バックアップを削除する場合は、削除したいバックアップデータに☑チェックを入れ、
[Delete backup] をクリックすると削除できます。

